

薬剤師によるポリファーマシー対策と 情報連携を進める！研修会 in 宮城

日時：2026年12月19日(土) 14:00～16:30

会場：TKP仙台青葉通カンファレンスセンター

カンファレンスルーム7E(仙台市青葉区一番町2-4-1
青葉通パークビルディング7階)・

オンライン(Zoom Webinar)ハイブリッド開催

申込URL

<https://forms.gle/JXhnC1Ny59LHYhSm6>



※ 申込締切：現地12月7日(定員60名)、オンライン12月17日(同400名)

一般講演 14:00～14:20

『薬剤総合評価調整加算について-当院の取り組みと算定状況-』

講師 大崎市民病院 薬剤部 田中 恵梨 先生

一般講演 14:20～14:40

『保険薬局で行う薬剤レビュー

～新設「服用薬剤調整支援料2」を見据えた病薬連携を考える～』

講師 アイン薬局 台原店 鈴木 大希 先生

特別講演 14:40～15:30

『処方“みる”から患者を“みる”へ

～診療報酬改定で求められるポリファーマシー対策～』

講師 国立長寿医療研究センター 薬剤部 副薬剤部長

／長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室 室長 溝神 文博 先生

休憩 15:30～15:40

実技研修 15:40～16:30

『ポリファーマシー対策と情報連携に基礎から取り組む演習』

講師 溝神文博先生・宮城県病院薬剤師会

令和8年度診療報酬改定における「服用薬剤調整支援料2」や「病棟薬剤業務実施加算1」の要件見直し、増点からもわかるように、薬剤師主導によるポリファーマシー対策への期待が高まっています。また、「薬剤総合評価調整加算」の要件に薬剤管理サマリーが追加されたことから、病院～保険薬局間の情報連携の重要性が示されています。本研修会では、ポリファーマシーの評価と対策の方法や、トレーニングレポート・薬剤管理サマリーの活用事例を通じて、基礎的なスキルの向上を目指します。

※ 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度 1単位(申請中)

※ 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師制度 領域III-2 1.5単位(申請中)

※ 申込時に、氏名、施設名、メールアドレス、薬剤師登録番号、研修単位の可否等の登録が必要です。

※ メールアドレスは事務連絡のため、必要により宮城県病院薬剤師会事務局に開示いたします。

※ 日本薬剤師研修センターの単位申請には、薬剤師認定制度認証機構の指針に基づき研修会終了後アンケートへの回答が必要です。また、初めて単位を申請される場合、薬剤師研修・認定電子システム(PECS)で事前に手続きが必要です。<https://www.jpec.or.jp/sien/system/>

※ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 研修単位は、研修会で表示するURLまたはQRコードから、研修管理システム(HOPESS)にログインして申請してください。研修会の途中で表示する複数のキーワードの入力が必要です。

※ 講演開始15分後以降の入室された場合は研修単位が発行されません。

※ 本研修会は「地域医療介護総合確保基金事業(医療分)」において宮城県薬務課より「薬剤師確保対策事業」「認定薬局の整備促進事業」として委託を受けて実施しております。

共催：宮城県病院薬剤師会・宮城県・宮城県薬剤師会